

川崎市議会議員 いわくまちひろ

不透明な予算支出はダメ！

(決算議会)

民進みらい
川崎市議団

連載No.88

9月28日の読売・朝日新聞に、私が

決算議会で取り上げた政策調査の内容が報道されました。

先月号でお伝えした、最近の市職員の不祥事による公金(税)の損失や天

下りのルール違反が常態化していることもあり、今議会では市の事業と税の使い道を隅々まで徹底的に検証しまし

たと。すると、川崎市でも現在東京都が抱

えているような、**不適切な予算支出や不透明な事業執行**と類似した事例が存在していました。

その内容については、**市が過去10年間以上に渡り、当初の事業目的とは異なる目的外の予算流用を行っていた実**

態を明らかにしました。分かりやすくご説明すると、他の事業を行うための予算を、毎年3億円以上プールしていたこととなります。また、その中から、本来であれば議会の議決が求められるであろう事業についても、水面下で予算支出していた事実がありました。

市長・財政局長からは、早急に改善に努めることや再発防止、反省する旨



川崎市議会議員 いわくまちひろ

の答弁が返ってきています。

なぜ、今回の件が大きな問題なのかというと、法律に基づいて議会へ提出が義務付けられている「決算書」には、今回の事案については全く明記されていないことや他目的に予算を流用することが議会の目の届かないところで常態化していたからです。

予算の流用の常態化は、行政が使っているお金の使い道について、議会のチェックが機能しなくなるとともに、何のために毎年予算編成を行っているのか、その正確性に疑義が生じます。

川崎市の財務ルール(予算及び決算の規則)では、予算の流用は最小限に限るとされています。

議会・議員の一番の役割は、市民の税が円滑に使われているのか予算・決算を認定するところから始まります。

不適切な予算流用や支出がなされていないか、今後とも透明性の確保に努めて参ります。